

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2019-20年度 国際ロータリー 会長 マーク・ダニエル・マローニー 「ロータリーは世界をつなぐ」
 2019-20年度 第2570地区 ガバナー 鈴木秀憲 「つなげる:未来へつなぐ」「変化:変える(基本に戻る)」
 2019-20年度 志木ロータリークラブ 会長 上原 実 「誰がために」

第2288回 例会

2019-7-17

RI 第2570地区 鈴木秀憲 ガバナー 公式訪問

- ◎司会 清水 和之 副会長
- ◎点鐘 上原 実 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 田中 幸彦 会員
- ◎四つのテスト 田中 幸彦 会員
- ◎ゲスト

- 第2570地区 ガバナー 鈴木 秀憲様
- 〃 第2Gガバナー補佐 松川 厚子様
- 〃 地区幹事 藤倉 武様



「会長挨拶」

会長 上原 実



このところ梅雨空が続いて洗濯物がかわきにくいなど日常生活にも支障が出ているようです。昨年はこの時期猛暑日がつづいていたと記憶しています。皆様、梅雨明けの暑さには充分注意し、健康に留意して下さい。

今日は第2570地区ガバナーの公式訪問例会です。鈴木秀憲ガバナー、松川厚子ガバナー補佐、地区幹事の藤倉様、おいそがしいなか志木クラブにご来会いただきましてまことにありがとうございます。

鈴木ガバナーにおかれましては、二度目のガバナーを引き受けていただいたということで本当に頭の下がる思いです。

例会後のクラブ協議会では、3つのテーマ、公共イメージの向上について、新規会員の入会促進について、新しい社会奉仕の提案について、ディスカッションリーダーのもと皆様の思いや提案を発表していただければと思います。鈴木ガバナーには講評よろしくお願いたします。

「幹事報告」

幹事 三上隆俊

1. 地区事務所より、地区青少年交換委員会「カウンセラー・ホストファミリー会議」開催の案内受信
日時：7月28日(日)
場所：国立女性教育会館 研修棟 301号
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま232号・2019年7月12日発行
3. 志木市社会福祉協議会会長の変更の挨拶状受信
前会長：谷合弘行⇒会長：中村勝義

「卓話」

「ガバナー公式訪問卓話」

第2570地区ガバナー 鈴木秀憲様(吹上 RC)



マーク・ダニエル・マローニー (米国・ディケーターRC 1955年生) 会長のテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

マローニー会長講話要旨…国際協議会(2019.1)

強調事項 1

ロータリーを成長させる。奉仕やプロジェクトのインパクトを成長させる。会員基盤を成長させる。つまり会員増強。

強調事項 2

ロータリーの活動と家族の時間を補完させる。つまり柔軟性。

強調事項 3

忙しいロータリアンもロータリーのリーダーになれるように。自分たちで作った障壁を排除する。これも柔軟性。

強調事項 4

ロータリーの活動(6つの重点項目)は、より健康で・平和で、持続可能な世界に向けた国連のコミットメント(約束・責任)※を共有している。ロータリーは奉仕と平和の精神の下、世界中の人々と繋がっている。

※SDGs Sustainable Development Goals
17項目、2016～2030年に達成

ロータリーは世界をつなぐ

私達ロータリアンは世界で・地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。…ビジョン声明
ロータリーを通じて私たちは繋がります

ロータリーで私達はお互いの違い(人種や宗教・言語)を超え、深く意義ある形につながる事が出来る。ロータリーが無ければ出会う事が無かった人や支援を必要とする人々とのつながりをもたらしてくれる。私達は全員が属する世界的なコミュニティの人達と繋がっている。ロータリーの中核にあるのがこの「つながり」。これが2019-20年度のテーマです。

地区は

つなげる：未来へつなぐ

○組織の未来へつなげる 組織運営を

ガバナーの早期選出 地区戦略計画の第一歩

○個人の未来へつなげる 奉仕活動を

奉仕する事は個人の未来の為 結果として

地区のサブテーマ

変化：変える(基本に戻る)

○不合理な事・不便な事に対処すると、結果、変化しなければならなくなる。

○長い間に、必要に応じて変化した事は進化。周囲の環境変化の為、一時的に変化したものの、その後の周囲の状況変化(元に戻る、更に進化する)に対応出来ないものは、一度基本に戻り、新たな変化に対応する。

※変化の為の変化は不要。奇を衒い単に変化を求める必要はない。

地区運営で私が心掛けること

地区運営の簡略化、基本に戻る、説明の簡略化

クラブ会長にお願いすること

クラブ運営に柔軟化を、意識改革（自分で壁を作らない・型に嵌め込まない）

※壁を作る・型に嵌め込む・前例がない等は後ろ向き。ぜひ前向きな考えを。自分の将来の為になる

本年度ガバナーとして

ロータリーって何？

世間の方はご存じない。ロータリアンは活動が多岐に亘り、上手く説明出来ない。

どうしたら分かって頂けるか

○ロータリー共通の内容を説明 ○ロータリー共通の内容とは ○ロータリーとして不変のもの ○ロータリーの目的

ロータリーの目的を言えますか？

（世間の方々が理解できますか）

ロータリーの目的（RI 定款 4 条クラブ定款 5 条）

自分自身と職業を磨きながら、地域や国際社会で奉仕する団体。貴方も参加しませんか？

自分を磨くとは徳望を身に着ける事

徳望とは徳が高く、人望がある事。自分の人格を高める。高学歴や高収入を指すのではない。職業を磨くとは、地域の役に立つ仕事をする事。高潔性をもって。会社を大きくする・利益を上げるという事ではない。まして上場企業になる事でもない。

※昨今、国際ロータリーの中では、職業奉仕を軽視しがちであるが、「職業奉仕こそ日本のロータリーの原点である」と私は考えています。

地域社会で奉仕するとは

他の人や団体或いは自治体等の目が届かない事・手が届いていない事に着目・実施する。「目立つ事をする」という事ではない。

国際社会で奉仕するとは？

ロータリーの世界的ネットワークを活用しての活動。人道的奉仕や次世代の育成（国

際交流）等がある。

貴方も参加しませんか

ロータリーの目的の第 1 項「知り合いを広め奉仕の機会とする」を簡単に表現

○上記「ロータリーって何？」をシートにして作成 ○上記「ロータリーって何？」シートをバスに貼り付けました

ロータリーの広報

（公共イメージと認知度の向上）

ロータリアンが思っている程には世間の方々には知られていない。だから広報が大切。

⇒ロータリーって何？ ロータリーの説明をした後で、（その一環としての）夫々のクラブの社会奉仕等について話をする。⇒ロータリーの目的と夫々のクラブの奉仕活動の関連性を理解して頂ける。

だが、しかし、（広報する場合の留意点）

どんなに旨い事を言って広報しても、他人

（世間の人）は、その人の言っている事よりも、その人の行動を見ている。

その団体の広報している事よりも、その団体の行動を見ている。又、団体の場合は構成員を見ている。

広報する場合の留意点

だから私達は日頃の言動に注意する必要がある。それは窮屈だ。そんなことはありません。ロータリアンですから。

日頃の言動に留意すべき行動規範

5 つの中核的価値観

SERVICE（奉仕）

FELLOWSHIP（親睦）

DIVERSITY（多様性）

INTEGRITY（高潔性）

READERSHIP（指導力）

それと社会奉仕の内容が大切。前出「地域社会で奉仕するとは」を基本とし以下を参考に。

（個人）ロータリアン自身が広告塔

ロータリアン自身が広告塔です。私生活でも生き生きと輝いて活動して下さい。そして自分自身と自分の職業を磨いた上で、地域や広域での業界活動でも、或いは地元商

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■朝霞RC (火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店

■新座こぶしRC (水) 12:30~13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770

事務局 048-424-8178

2288-3◇

志木 RC 会報

工会や商工会議所、法人会、労働基準協会等でも活躍して下さい。

そして経済活動以外の地域の自治会活動・消防団・交通安全協会等、ロータリー以外の地域団体でも活躍して下さい。「流石市民のリーダー」と言われるように。間違っても「ロータリーで忙しいから」と言って地域での奉仕を疎かにしないで下さい。

(クラブ) 各クラブ協調

同一地域に数クラブが併存する場合には、(広報の効果を考えるなら) 協調した事業をアピールするべき。

ポリオ撲滅(最近では根絶)は分かり易い。地域社会でも強調した事業を考えて下さい。このことは、各クラブの奉仕活動を規制するものではありません。

社会奉仕で留意すべき点 見直し

長年に亘って行ってきた奉仕活動もたまには見直しをして下さい。奉仕活動を始めた当時と今では社会情勢も大きく変化しています。(昔は有難かった。でも今は迷惑とは言わないまでも有難くない)

地域で必要とされているか?

(必要でない事を行っている、マスターベーションと言われかねない。他の団体や自治体が類似事業を行っていないか?) 見直した結果、必要なら是非継続して下さい。

(必要が無くなったら…使命を果たしたなら…その事業はやめて、そのエネルギーは支援を必要としている他の事業に充てて下さい)

社会奉仕で留意すべき点 共同・協力・委譲

地域にとって必要だけれど、クラブとして事業が大きすぎて負担が多い場合は、他のクラブと合同・又は他の団体と共同で行うことも検討したら如何でしょう。こうすれば他の団体から理解を得やすい。

地域にとって必要で、長年に亘って行うべき事は、自治体と協力、若しくは委譲する事も考えるべき。そうすれば新しい奉仕活動が可能になります。これ等については社会奉仕に関する声明(手続要覧 5,6 頁)に。

最後に 何故 公共イメージか?

旧戦略計画 3つの優先項目

- 人道的奉仕の増加(人道的奉仕の重点化と増加) その為には費用が掛かる⇒皆で負担⇒仲間を増やす
- クラブの強化(会員増強)(クラブのサポートと強化) その為には世間に知って頂く⇒良いイメージでの広報
- だから公共イメージが大切(公共イメージと認知度の向上)

「クラブ協議会」

研修リーダー 星野博之

本日は、3つのテーマの下、グループディスカッションを行っていただきます。この3つのテーマは、それぞれ影響し合う関連性を持つとともに、「楽しく、元気で、魅力あるクラブ」を作る上で欠かせない、重要なテーマです。現状を見直し、新しいクラブを作っていくために、活発な提案をお願い致します。

「テーブル・ディスカッション」

◎「RCの公共イメージの向上について」

リーダー 古田征也(発表者 上野剛彦)



- ホームページを作ってロータリーを知ってもらう ○HP をいかに会員外の方に見てもらいか努力をすべき ○HP を検索しやすいようにしたら一般の人にも見てもらえるのでは ○Facebook を活用してロータリーの活動を載せて知ってもらう
- ロータリークラブの活動を知ってもらうことが大切 ○様々なイベントに関わっていることを PR する ○ジャンパーや T シャツをそろえて活動の際に着用 ○「川と街」の活動も、本来は初代会長が川の汚れを問題視して活動が始まったのに、もはや市の主導しているように思われている ○会報

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

も会員外にも広く知ってもら

- 公共イメージの向上と会員拡大はリンクしていったらいい
- 楽しそうだと思ってもらうことも大切
- 一般の方にも来て頂けるような催し（コンサート等）を開催することも有効と思う
- 一人一人がロータリーの精神に基づいた行動をしていって知ってもら
- 会員一人一人が地域の様々な活動に積極的に参加して、多くの方々と一緒に活動することにより理解が深まる

◎「新規会員の入会促進について」

リーダー 宮田泰彦（発表者 西川和人）



本グループでは、11名参加の下、座長を中心に指名型のディスカッションが行なわれた。現状の会員の入会プロセスは、ロータリーの活動内容を理解せず、JC、青年部、下請けとの関係性から入会するケースが大半であり、これらの入会プロセスは会員増強に一定の効果が見られたが、近年はこの効果も薄れてきている。その理由は、これまで支えられてきた「質から量」の志木 RC から改めて「質」に転じる必要が迫ってきていることが挙げられた。今後の会員増強には、1. 明確な目標設定 2. 未職業分類の開拓 3. 女性会員などの柔軟性のある戦略が求められる。

◎「新しい社会奉仕の提案について」

リーダー 市之瀬正靖（発表者 内山雄二郎）



- みつばすみれの継続（より適切な関わり方）
- 環境問題 巨木・古木の保護、植樹。どんどん切られている（住環境の問題で切つて

しまうことがある）

- 柳瀬川 RC での社会奉仕…総合福祉センターの夏・冬のイベント手伝い
- 現在の活動内容の深掘り。棚卸し、整理する
- すぐに変えるというよりは段階的に進める
- 平均年齢が上がる中で持続的な事業を練り込む
- 市民参加型 埼大の学生やボーイスカウト、高校生を巻き込む
- 子どもに対する活動
- ワンコインコンサート
- フライヤーを作成（事業内容）、祭り等で配布する
- 外部とのコミュニケーション
- 渉外担当を設けて外部とコラボレーションの種をまく活動をする
- ロータリー＝何かしたい 何が求められているか探している
- 外部団体＝やりたいことがあるが支援を求めている

「講評」

鈴木秀憲ガバナー



●出席報告 出席向上委員長 武藤典夫

会員数47名 出席義務者39名 免除者 8名

| | | |
|------|------|--------|
| 本日出席 | 本日欠席 | 本日出席率 |
| 38名 | 3名 | 92.68% |

| | | |
|---------|----------|-------|
| 前々回 MU | 前々回修正出席率 | 平均出席率 |
| (0名中0名) | 100% | 100% |